

看護学生と高校生がインターンシップ

城西病院のインターンシップが7月24日に行われました。結城看護専門学校(きつぎ)の学生3人と鬼怒商業高(きつぎ)の生徒2人、結城一高(きつぎ)の2人の計7人が参加しました。

7人はまず、城西病院の概要や看護師の仕事、城西病院を核とした達生堂グループの海外医療支援などについて話を聞いた後、看護師の制服を着て、病院内を回り、看護師の仕事を体験しました。

手術室では、手術に使う道具などを実際に手にしたり、手術着を着る体験も行いました。1人が患者体験として手術台に寝て、どのように手術の準備が行われるのかも体験。高校生にとっては初めて入る手術室に好奇心がいっぱい。看護学生も手術室に入ったことはあっても、実際に手術の道具の触ったり、手術の準備をするのは初めての体験で、緊張の面持ちで体験をしていました。

午後からは、看護学生は外科病棟、高校生は内科病棟に分かれて体験しました。看護学生は、病棟で実習の経験もあることから、より専門的な話などを聞いていました。高校生は、聴診器の体験や車いす体験、病院食の体験などを行いました。高校生4人は、看護師を目指したいと話していて、先輩看護師の話真剣に聴きながら体験をしていました。

体験を終えた後は、若い先輩ナースとの懇談会を開き、看護師になった動機や仕事のやりがいなどさまざまな質問をしていました。インターンシップは8月7日にも開催する予定で、希望者は城西病院総務課 ☎ 0296(33)2111 までお問い合わせください。

2019年7月26日

